

「筋骨格系疾患及び廃用症候群に関する事例」タイムスケジュール

| 時間                                 | 修得目標   | 講義のポイント   | ミニワークテーマ  | ミニワークのポイント  |        |
|------------------------------------|--|---|---|---|--------|
| 10:00~10:05                        | 導入   | 研修記録シートの目標を確認<br>アイスブレイク  |   |   |        |
| 10:05~11:45<br>(100分)<br>(適宜休憩を含む) | <p>第1節<br/>筋骨格系疾患の理解</p> <p>第2節<br/>廃用症候群の理解</p> <p>第3節<br/>筋骨格系疾患や廃用症候群におけるリハビリテーション、福祉用具、住宅改修の活用方法</p> | <p>①筋骨格系の疾患の種類、原因、症状、生活をするうえでの障害及び予防・改善方法や特徴について説明できる</p> <p>②廃用症候群の原因、生活をするうえでの障害及び予防・改善方法について説明できる</p> <p>③筋骨格系疾患や廃用症候群の予防や改善方法について説明できる</p> <p>④筋骨格系疾患や廃用症候群における療養上の留意点について説明できる</p> <p>⑤筋骨格系疾患や廃用症候群におけるリハビリテーションや福祉用具、住宅改修の効果的な活用方法について説明できる</p> | <p>1. 筋骨格系の役割と構造</p> <p>2. 筋骨格系疾患の種類、原因、症状、生活について</p> <p>1. 廃用症候群（種類、原因、症状、生活）について</p> <p>2. 廃用症候群における予防・改善方法</p> <p>3. 廃用症候群における療養上の留意点</p> <p>1. リハビリテーション</p> <p>2. 福祉用具</p> <p>3. 居宅介護福祉用具購入費</p> <p>4. 福祉用具購入費の支給限度基準額</p> <p>5. 軽度者の福祉用具貸与の取り扱い</p> <p>6. 住環境整備</p> <p>7. 居宅介護住宅改修費</p> <p>8. 住宅改修費支給申請書の提出</p> | <p>ミニワーク（10分）</p> <p>①変形性膝関節症の改善方法、生活上の留意事項を列挙</p> <p>②骨粗鬆症の改善方法、生活上の留意事項を列挙</p> <p>③廃用症候群の原因として考えられる要因を列挙</p> <p>④廃用症候群の日常生活に及ぼす影響を列挙</p> <p>⑤筋骨格系疾患の利用者に有効と思われる福祉用具を列挙</p> <p>⑥住宅改修費の支給対象となる改修項目を列挙</p> <p>⑦変形性膝関節症の大腿四頭筋の強化が有効な理由と訓練方法</p> | 理解度を確認 |
| 11:45~12:45                        | 昼食・休憩  |   |   |   |        |

※ミニワークについては、適宜実施するものとする

「筋骨格系疾患及び廃用症候群に関する事例」タイムスケジュール

2-2

| 時間  | 修得目標   | 講義のポイント   | ミニワークテーマ   | ミニワークのポイント                 |
|---|--|---|--|----------------------------|
| 12:45~16:20<br>(215分)<br>(適宜休憩を含む)<br><br>第4節<br>筋骨格系疾患や<br>廃用症候群の特<br>性に応じたケア<br>マネジメントの<br>具体的な方法 | 筋骨格系疾患や<br>廃用症候群の特<br>性に応じたケア<br>マネジメントの<br>具体的な方法を<br>実施できる | 1. インテーク<br>2. アセスメント<br>3. ケアプラン原案作成<br>4. サービス担当者会議<br>5. モニタリング<br>6. 終結・フォローアップ |  |                            |
|   |  | 初期面接相談の事前準備の視点<br>演習 15-④-1   | 訪問する際の、事前<br>にどのような方法で、<br>どのような知識を<br>備えて面接に臨ん<br>だらいいのか？                                   | テキスト<br>p274 を参照           |
|   |  | リスク・予後予測の視点<br>演習 15-④-2  | 6 カ月後の予後<br>を想定してみる  | テキスト<br>p275 を参照           |
|   |  | 多職種協働の視点<br>演習 15-④-3   | どのようなチーム<br>ケアを組めばいい<br>のか？介護支援専<br>門員が連携すべき<br>他の専門職等と、具<br>体的に相談や依頼<br>をする内容はどの<br>ようなことか？ | テキスト<br>p276 を参照           |
|   |  | 全体像の把握の視点<br>演習 15-④-4  | テキスト p238 を参<br>照に悪循環の状況<br>を図にしてみまし<br>ょう   | テキスト<br>p277 を参照           |
|   |  | 参加と活動の視点<br>演習 15-④-5   | 前向きな意向を持<br>ってもらうには、ど<br>んなことを提案し<br>ますか？  | テキスト<br>p277 を参照           |
|   |  | 第5節<br>継続学習の必要<br>性と、具体的な<br>学習方法   | 継続学習の必要<br>性と、具体的な<br>学習方法を述べ<br>る事ができる  | 1. 継続学習の必要性<br>2. 具体的な学習方法 |
| 16:20~16:30<br>(10分)  | 振り返り   | 全体の振り返り<br>ポイントについて   |  |                            |

**演習** 初期面接相談の事前準備の視点

渡辺ふくさんが両変形性膝関節症等のため、転倒することが増えてきたことから、介護保険サービスの利用について相談を受けました。

しかし、担当することになった介護支援専門員は、両変形性膝関節症の生活上の留意点に関する知識はほとんどありません。このような場合、インテークのために訪問する際は、事前にどのような方法で、どのような知識を備えたうえで面接に臨むべきだと思いますか？

【個人ワーク】

【グループワーク】

【まとめ】

渡辺ふくさんは、本人の言葉とは裏腹に低活動であり、転倒しやすくなり家事ができなくなってきましたが、自宅生活を継続したいと希望しています。

仮に、渡辺ふくさんがこのまま低活動の状態を続けていれば、6カ月後にはどのような状態になっていると想定されますか？

【個人ワーク】

【グループワーク】

【まとめ】

**演習** 多職種協働の視点

渡辺ふくさんの転倒リスクを軽減し、自分でできることを増やすようにして、本人が希望している自宅生活の継続に向けた支援をすることが自立支援です。

渡辺ふくさんの支援にあたって、どのようなケアチームを組むかを念頭において、介護支援専門員が連携すべき他の専門職等と、具体的に相談や依頼をする内容はどのようなことでしょうか？

【個人ワーク】

【グループワーク】

【まとめ】

渡辺ふくさんは、両膝変形性膝関節症を発端に廃用症候群になっていると考えられます。テキストp238の体力低下の悪循環のメカニズムを参考にしながら、渡辺ふくさんが陥っていると思われる悪循環の状況を図に表してみましょう。

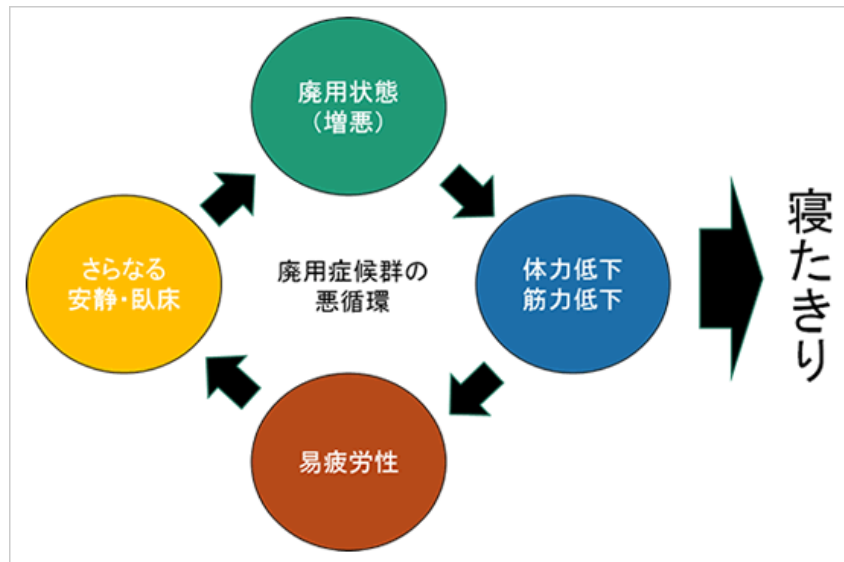
【グループワーク】

渡辺ふくさんが自宅生活を継続するためには、身体機能の向上だけを目的にするだけでは不十分です。本人に前向きな意欲をもってもらうには、どのような提案が考えられますか？

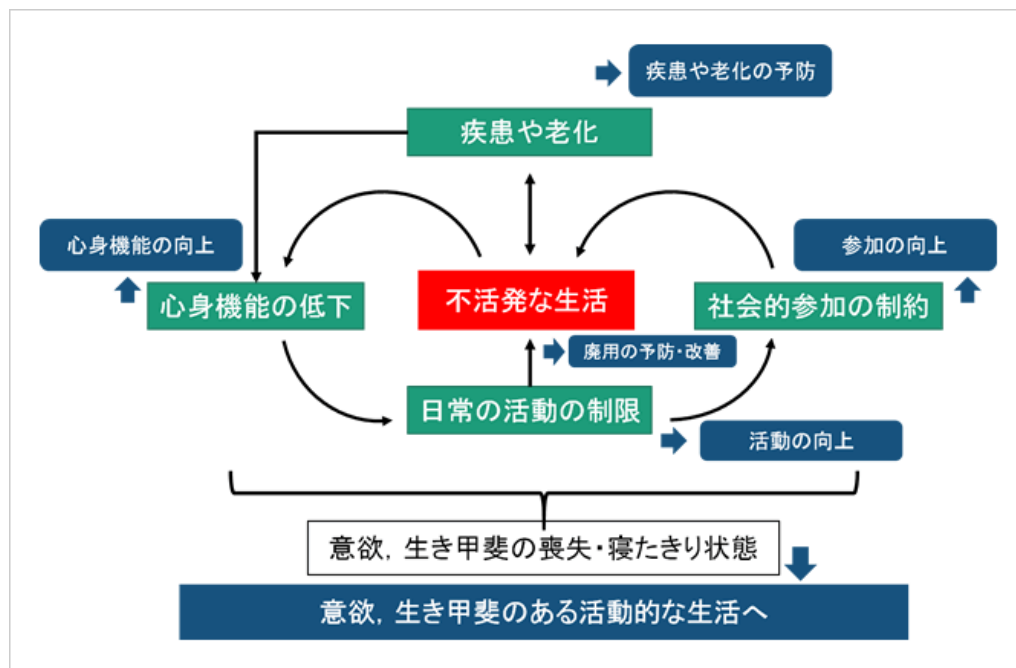
【個人ワーク】

【グループワーク】

【まとめ】



● 図1 廃用症候群の悪循環



● 図4 活動的な生活を構築する良循環へ

